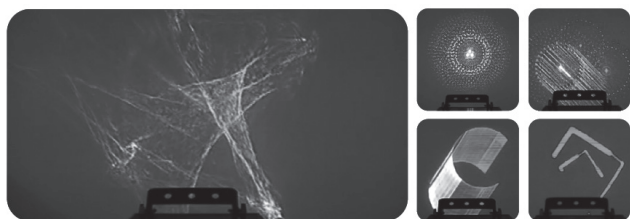


e-lite LASER

POWER-N



製品の特徴

この度は e-lite LASER 製レーザー照明機器 POWER-N をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

イーライトレーザー「POWER-N」は5つの新しいエフェクトを搭載した7カラーレーザーです。コンパクトなボディにはRGB 合計 480mw 25KPPS のレーザーを搭載。コントロールモードは DMX、サウンドアクティブ、マスタースレーブ、ILDA コントロール等に対応いたします。内蔵されたエフェクトはパターンをビームで照射する「スキャンビームエフェクト」、オーロラを連想させる「ルミアエフェクト」、プリズム効果の「バーストグレーティングエフェクト」、幾何学的な模様を照射する「ユニバーサルエフェクト」、照射パターンを立体的に浮かび上がらせる「3 Dエフェクト」5種類を内蔵しております。ILDA コントロール時には ILDA で照射されているパターンに対して併用 DMX チャンネルにて上記5種類のエフェクトの追加が可能です。



製品内容

製品内容

レーザーライト	1
インターロック用キー	2
インターロックコネクター	1
取扱説明書	1
電源ケーブル	1

安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることができる場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

レーザー



レーザー光を直接見ない。
失明等の原因となる場合があります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。

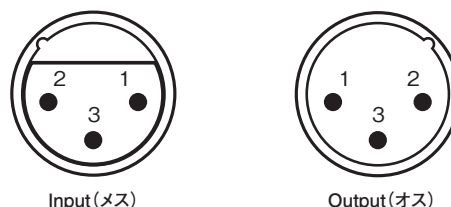
- ※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。
- ※レーザーは、使い方を誤ると非常に危険です。設置・使用に際しては、正しい知識をもった技術者の指導をかならず受けてください。
- ※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。
- ※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。
- ※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。
- ※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
- ※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。
- ※レーザー光線を直接人や動植物に照射することは絶対におやめください。
また、本製品を運転したまま放置することも大変危険です。
- ※クラス 3B レーザー機器は熟練のレーザー知識を有するオペレーターによってのみ操作が許されています。
- ※レーザーのクラスとその波長レベルによっては網膜や皮膚に損傷をもたらすことがあります。
- ※レーザー機器の設置に関する規定は国ごとに様々な規定がございます。
日本国内で本製品を使用する場合は、JIS C 6802:2005「レーザー製品の安全基準」をよくお読みの上、設置及び運転上の安全に十分配慮ください。
- ※本製品は日本国内での使用を前提としています。本製品の再販に伴う日本国外への輸出はおやめください。

端子一覧

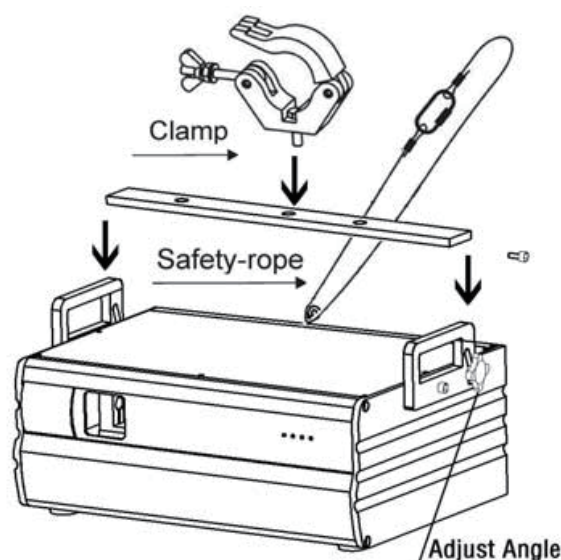
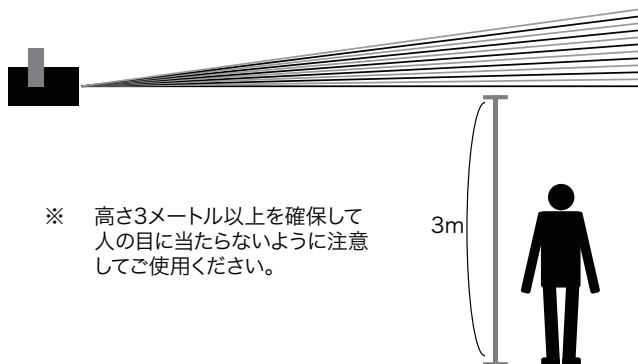
正しい端子・ケーブルをご使用ください。

端子名	極性	タイプ
INPUT, OUTPUT	ピン 1: グラウンド (GND) ピン 2: コールド (-) ピン 3: ホット (+)	XLR

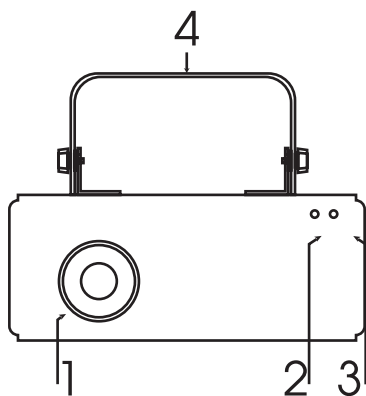
XLR/キャノンコネクタのDMX用接続



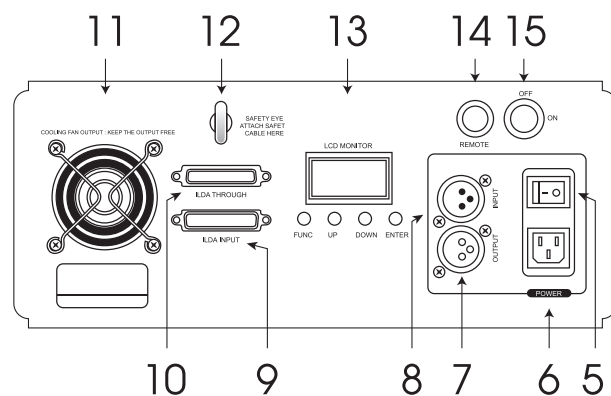
1 = ground/shield
2 = cold (-)
3 = hot (+)



各部の名称

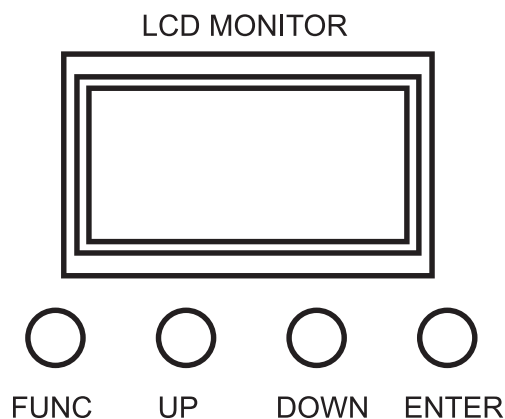


- (1) レーザー出力口 失明の危険性がありますので絶対に除きこまないで下さい
- (2) 電源ランプ 電源オン時 Red ランプ点灯
- (3) ミュージックランプ 音楽と同期して点滅します
- (4) 吊りブラケット



- (5) スイッチ 主電源 on/off スイッチ
- (6) 電源入力 電源ケーブル差し込み口
- (7) DMX 入力 XLR3pin コネクター オス
- (8) DMX 出力 XLR3pin コネクターメス
- (9) ILDA 入力 ILDA DB25 入力
- (10) ILDA スルー ILDA DB25 出力 / スルー
- (11) 冷却ファン カバーをあけないで下さい
- (12) セーフティアイ セーフティワイヤーをご使用下さい
- (13) LED コントロール コントロールパネル
- (14) セーフスイッチ エラー時にスイッチをオフにします
- (15) キースイッチ

コントロールパネル



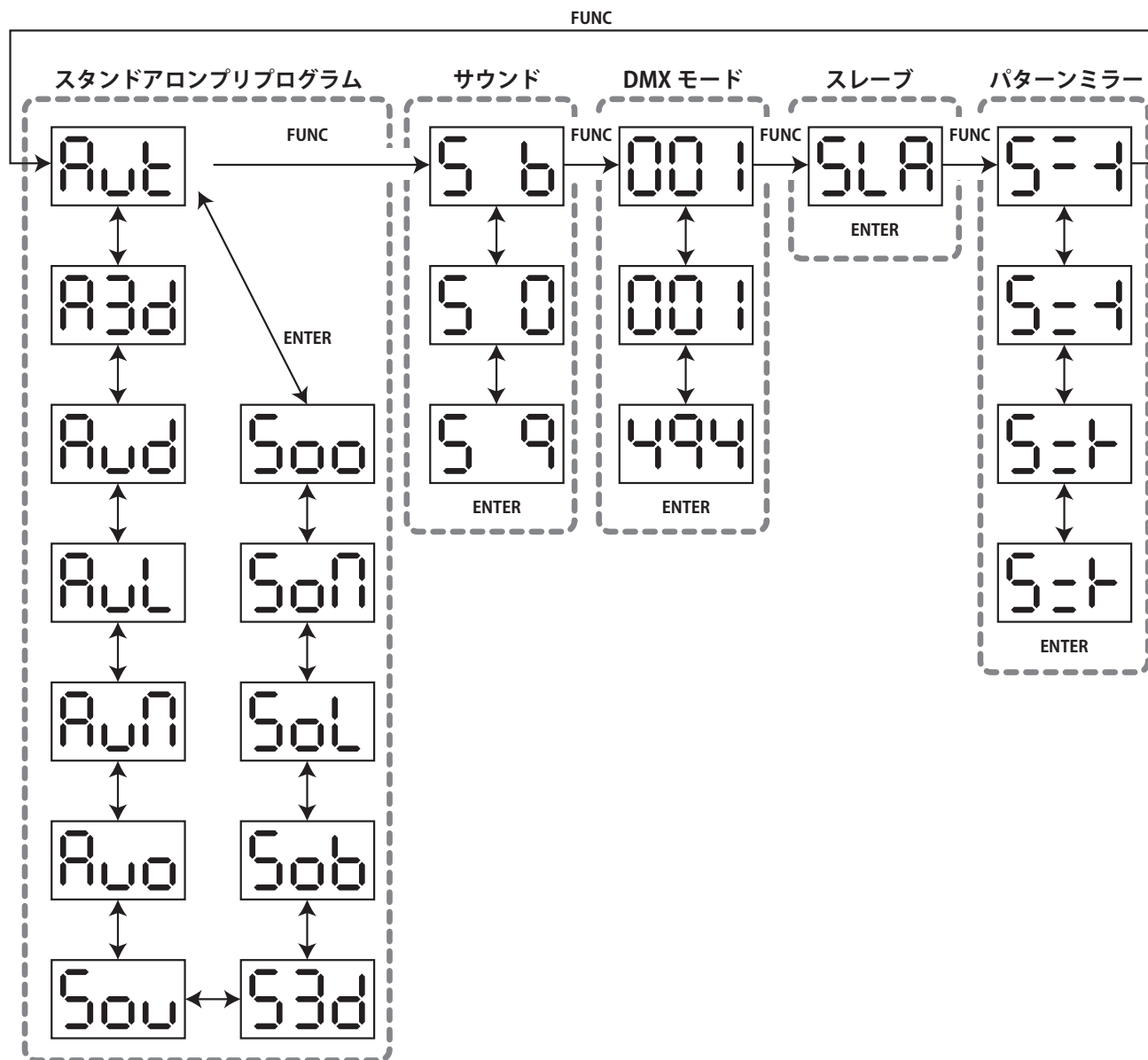
FUNC モードオプションを移動

ENTER 入力 / 決定ボタン

UP 上下移動

DOWN 数値の変更

オペレーション



ディスプレイ	スタンドアロン プリプログラムエフェクト
AUT	オートショウ 5つのエフェクトを MIX
A3d	オートショウ 3D エフェクト
AUB	オートショウ スキャンビーム
AUL	オートショウ レーザールミア
AUN	オートショウ パースト
AUO	オートショウ ユニバーサル
S**	サウンドアクティブ



モード

サウンドアクティブモードの感度設定

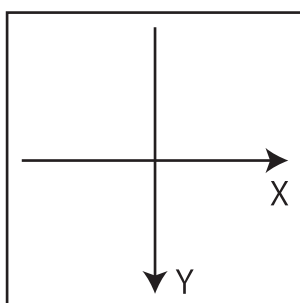
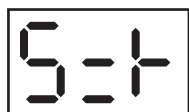
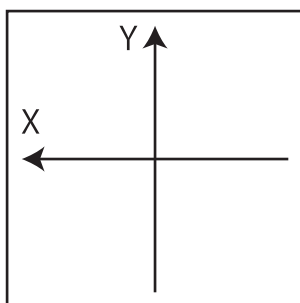
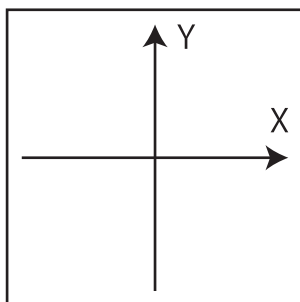
- FUNC ボタンを押し、S6 を表示させます
- UP/DOWN ボタンで感度を変更します。0 は感度が無く、9 が最大です。
- ENTER を押して決定します。

パターンミラーモード

- FUNC ボタンを押し MODE を選択します
- 下図を LED ディスプレイに表示させます
- ENTER を押して決定します。



UP ボタンを押すと X 軸が反転し、DOWN ボタンを押すと Y 軸が反転します。
ENTER を押して決定します。



DMX モード

- FUNC ボタンを押し MODE を選択します
- 001 を LED ディスプレイに表示させます
- ENTER を押して決定します。
- DMX スタートアドレスを UP/DOWN キーで選択し ENTER を押します。

SLAVE モード

- FUNC ボタンを押し MODE を選択します
- SLA を LED ディスプレイに表示させます
- ENTER を押して決定します。
- スレーブモードになり、DMX ケーブルで接続したマスターレーザーと同じ動作をします。

ILDA コントロールモード

本機には、ILDA DB25 ポートを備えています。これにより、PC からの制御が可能です。ユニット内部の自動トランスフォームから ILDA とプログラムショーにトランスフォームします。

25 ピンケーブルで接続されている時、ユニットは PC から制御され、接続されていないときはプリプログラムで作動します。

ILDA B25 は、本機を制御することが出来ますが、実際にはいくつかのソフトウェアでは出力カードの 4 ピンと 17 ピンが接続されないために、制御出来ない場合があります。それらを接続さえすれば解決すること場合があります。



DMX チャンネルチャート

ILDA 接続時

チャンネル	バリュー	機能
CH1 格子回転	000-004	格子回転 なし
	005-127	格子回転 時計回り
	128-133	格子回転 なし
	134-255	格子回転 反時計回り
CH2 格子エフェクト	000-031	レーザー 3D エフェクト
	032-063	スキャンビームエフェクト
	064-095	ルミアエフェクト
	096-127	スキャンビームエフェクト
	128-159	バーストエフェクト
	160-191	スキャンビームエフェクト
	192-223	ユニバーサルエフェクト
	224-255	スキャンビームエフェクト

ILDA 非接続時

チャンネル	バリュー	機能
CH1 MODE	000-018	レーザー OFF
	019-036	AUT オートショウ エフェクト 5 種ミックス
	037-054	A3D オートショウ レーザー 3D エフェクト
	055-072	AUB オートショウ スキャンビーム
	073-090	AUL オートショウ レーザールミア
	091-108	AUN オートショウ バースト
	109-126	AUO オートショウ ユニバーサルエフェクト
	127-144	SOU サウンドショウ エフェクト 5 種ミックス
	145-162	S3D サウンドショウ レーザー 3D エフェクト
	163-180	SOB サウンドショウ スキャンビーム
	181-198	SOL サウンドショウ レーザールミア
	199-216	SON サウンドショウ バースト
	217-234	SOO サウンドショウ ユニバーサルエフェクト
	235-255	DMX モード
CH2 グループ	000-051	1 グループパターン
	052-103	2 グループパターン
	104-155	3 グループパターン
	156-207	4 グループパターン
	208-255	5 グループパターン
CH3 パターン	000-255	16 毎に 1 グループ、トータル 16 パターン
CH4 カラー	000-007	オリジナル
	008-015	レッド
	016-023	グリーン
	024-031	イエロー
	032-039	ブルー
	040-047	パープル
	048-055	ライトブルー
	056-063	ホワイト
	064-111	カラー回転
	112-159	カラージャンプ
	160-227	カラームービング
	228-255	ストロボ

ILDA 非接続時

チャンネル	バリュー	機能
CH5 クリッピング	000	フルパターン クリッピングなし
	001-127	0%-99% フィックスパターン
	128-255	クリップスピード
CH6 ズーム	000-127	100%-5% フィックスパターン
	128-169	ズームイン
	170-209	ズームアウト
	210-255	擬似ズーム
CH7 ズーム速度	000-255	速い < 遅い
CH8 Y 軸回転	000-127	0-359 度 Y 軸回転
	128-191	時計回り
	192-255	反時計回り
CH9 回転速度	000-255	速い < 遅い
CH10 X 軸回転	000-127	0-359 度 X 軸回転
	128-191	時計回り
	192-255	反時計回り
CH11 回転速度	000-255	速い < 遅い
CH12 Z 軸回転	000-127	0-359 度 Z 軸回転
	128-191	時計回り
	192-255	反時計回り
CH13 回転速度	000-255	速い < 遅い
CH14 Y 軸動き	000-127	Y 軸 128 ポジション
	128-191	時計回り
	192-255	反時計回り
CH15 動き速度	000-255	速い < 遅い
CH16 X 軸動き	000-127	X 軸 128 ポジション
	128-191	時計回り
	192-255	反時計回り
CH17 動き速度	000-255	速い < 遅い
CH18 格子回転	000-004	格子回転なし
	005-127	時計回り
	128-133	格子回転なし
	134-255	反時計回り
CH19 格子エフェクト	000-031	レーザー 3D エフェクト
	032-063	スキャンビームエフェクト
	064-095	ルミアエフェクト
	096-127	スキャンビームエフェクト
	128-159	バーストエフェクト
	160-191	スキャンビームエフェクト
	192-223	ユニバーサルエフェクト
	224-255	スキャンビームエフェクト

▶ パターンリスト

DMX	1	2	3	4	5
000-015					
016-031					
032-047					
048-063					
064-079					
080-095					
096-111					
112-127					
128-143					
144-159					
160-175					
176-191					
192-207					
208-223					
224-239					
240-255					

▶ トラブルシューティング

トラブルシューティング

※オペレーション中に発生するささいなトラブルには簡単な方法で解決するものがあります。

筐体が動作しない、レーザー・ファンが動作しない

- 電源、メインヒューズが挿さっているか確認して下さい
- 電源の規格は適合していますか？
- LED 表示をみて電源が入っているか確認して下さい。

電源が入っているが出力口径からレーザーが出力されない

- 口径カバーがついたままになっていませんか？
- キースイッチを確認して下さい
- インターロックコネクタからリモートコネクタを確認して下さい
- 気温の低い日は電源を入れて 30 分間ウォームアップして下さい
- 音調同期のミュージックモードになっていませんか？
- スレープモードになっていませんか？
- DMX モードで DMX 信号はきていますか？

レーザーエフェクトが弱い場合

- 電源を入れて 30 分間ウォームアップして下さい
- スキャナミラーや口径グラスをアルコールでクリーニングして下さい
- DMX でストロボ高周波になっていないか確認して下さい

レーザー出力はあるがエフェクトが動作しない場合

- 音調モード音声の入力はありますか？
- 別のスタンドアロンモードで試してみてください。

DMX コントローラーに反応しない場合

- DMX アドレスが極大値・極小値になっていませんか？
- 断続的に止まるならば筐体側のコネクタピンを調べて下さい。
- 他の DMX コントローラーで試してみてください。
- DMX ケーブルの近くまたは並行して高電圧のケーブルが走っていると DMX 回路に干渉する恐れがあります。ご注意ください。

▶ 保守・整備

- 取り付け部分より下のエリアを点検して下さい。
- スイッチを切り電源ケーブルは抜いて下さい。
- 筐体の固着と取り付ける場所（シーリング、トラス、サスペンション）は周囲の突起物などに注意してください。
- 電源ケーブルは傷・断線などのない状態のものを使用し、何か問題があればすぐに取り替えて下さい。
- オーバーヒートから筐体を保護するためファンと通気路を毎月クリーニングしてください。
- 光源を最大限活用するためには、出力口径のグラスとスキャナミラーの清掃は定期的の実施してください。
 - 1) メガネ拭きなどの柔らかい布でグラス部分を拭く。
 - 2) パーツは乾燥した場所に保管する
 - 3) 1 ヶ月ごとに清掃を実施する。



スペック

● 電圧	AC100-240V,50/60Hz
● ヒューズ	250V/1.6A slowblow(20mm glass)
● 消費電力	40W
● X/Y 軸ビームアングル	± 20°
● music コントロール	オーディオ / サウンドアクティブ
● レーザーパワー	100mw 638nm RED CW 80mw 532nm GREEN CW 300mw 450nm BLUE CW
● レーザークラス	class3b
● レーザー安全基準	EN60825-1 2007
● 動作温度	10-40°
● DMX コネクター	3 ピン XLR オス / メス
● DMX チャンネル	MAX19 チャンネル
● 寸法 (本体のみ)	H110 x W290 x D240 mm
● 重量	4.5kg

この取扱説明書は IDE コーポレーション有限会社が制作しています。
〒 530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24